

第 18 回例会報告 (11月8日)

【 出席 報 告 】

・ 会員数 58 名 ・ 出席数 38 名 ・ 欠席数 20 名
 ・ 当日出席率 78.72% ・ 前々回修正出席率 97.87%
 < 欠席会員 > 檜垣(巧)、飯沼、冠、宮本、竹田、田中、渡邊(一)、渡辺(易)、矢野、横井
 [免除会員] 青野、原(真)、原(竜)、原田、松本、村上(敬)、野間、佐伯、坂本、八木
 < 10/25欠席補填 > (10/15今治北)金森、冠 (10/16今治南)小堀、越智(健)、田中、横井
 (10/23今治南)檜垣(巧)、伊藤、門田 (10/21千葉地区大会)飯 (10/30IAC)越智(節)

幹事報告・本日例会終了後、事務局にて第6回11月定例理事会を開催致します。

・ 法人会より石川英輔氏講演のご案内：11月13日(火)13:30～15:00、国際ホテルクリスタルホールにて。演題は「江戸から学ぶもっとも大切な環境とは」です。ぜひご参加下さい。入場整理券ご希望の方は事務局まで。

・ その他回覧物：須之内淳二バスターガバナー御礼状、地区大会仮登録用紙、第99回ロータリー国際大会のご案内、国際交流協会第4回交流会のご案内

親睦活動委員会報告・軟式野球同好会よりお知らせ：11月3日、高知・春野球場で2670地区の大会がありました。残念ながら善通寺RCに2対21で負けました。

ロータリー財団委員会アワー

近藤正人委員長：ロータリー財団は1917年、アーチ・C・クランプ国際ロータリー会長が、「世界でよいことをするために」ということで基金の設置を提案しました。1928年には、5,000ドルに成長して、この時にロータリー財団と名づけられ、国際ロータリーから独立した別機関となりました。その2年後、財団は初めて補助金500ドルを国際障害児協会へ授与しました。1947年にポール・ハリスが亡くなった時に多くの人から国際ロータリーへ寄付が寄せられ、財団をさらに大きくするために「ポール・ハリス記念基金」が設置されました。同じ年、現在の国際親善奨学金の前身である最初の財団プログラムがつけられました。それ以降、いろいろなプログラムが設置されました。1917年に26ドル50セントの最初の寄付が贈られて以来、財団には、総額10億ドル以上の寄付が寄せられているということです。また、100万人以上がポール・ハリス・フェローとして認定されています。ロータリー財団の主な活動としては、教育プログラム、人道的補助金プログラム、ポリオ・プラスの三つがあります。



今治RCの財団への寄付の現状を報告します。1人当たりでは2004-2005年度が112ドル31セント、2005-2006年度が62ドル89セント。2006-2007年度は飯ガバナーが就任された年度で、177ドル93セントでした。本年度も引き続きある程度のレベルを達成していきたいと思っています。ロータリーカードを作って利用していただくと、ロータリー財団に一部が寄付されますのでご協力をお願いします。

飯忠悟直前ガバナー：ロータリーのゴールドカードは年会費がかかりますが、一般カードは年会費がかかりません。全国でやっと5,000枚になりましたので、カードを使うと0.3%がロータリー財団に入ります。皆さんはカードをいっぱい持っているでしょうが、できればロータリーのカードを使っていただくようお願いします。ロータリー財団はRIよりも金持ちです。RIはロータリー財団から毎年、2,000万ドルの運営資金をもらっています。しかし元々はRIの従属的な機関でした。3年前のロータリー100周年のときに「100ドルの寄付を」をテーマにしました。2670地区では金額はかなり増えましたが、全国34地区のうち34番目でした。ロータリー財団の一番の目玉は平和奨学生です。ロータリー財団にご協力を賜りますようお願い申し上げます。



次回例会 (11月15日)

【 社会奉仕委員会アワー 】 西条葵コーラス指揮者 秋川暢宏氏 『“ 千の風になって ” によせて』

< 夫人誕生祝 > 金森 節生氏 (11/16) 前川 典和氏 (11/16)

[献立 : 笹]